Cochlear™

Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 1 University Avenue, Macquarie University, NSW 2109, Australia
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352
Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove, NSW 2066, Australia
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352
Cochlear Americas 13059 E Peakview Avenue, Centennial, CO 80111, USA
Tel: +1 303 790 9010 Fax: +1 303 792 9025
Cochlear Canada Inc 2500-120 Adelaide Street West, Toronto, ON M5H 1T1, Canada
Tel: +1 416 972 5082 Fax: +1 416 972 5083
Cochlear AG EMEA Headquarters, Peter Merian-Weg 4, 4052 Basel, Switzerland
Tel: +41 61 205 0404 Fax: +41 61 205 0405
EC REP **Cochlear Deutschland GmbH & Co. KG** Karl-Wiechert-Allee 76A, 30625 Hannover, Germany
Tel: +49 511 542 770 Fax: +49 511 542 7770
Cochlear Europe Ltd 6 Dashwood Lang Road, Bourne Business Park, Addlestone, Surrey KT15 2HJ, United Kingdom
Tel: +44 1932 26 3400 Fax: +44 1932 26 3426
Cochlear Benelux NV Schaliënhoevedreef 20 i, B-2800 Mechelen, Belgium
Tel: +32 15 79 55 11 Fax: +32 15 79 55 70
Cochlear France S.A.S. Route de l'Orme aux Merisiers, Z.I. Les Algorithmes – Bât. Homère, 91190 Saint-Aubin, France
Tel: +33 805 200 016 Fax: +33 160 196 499
Cochlear Italia S.r.l. Via Larga 33, 40138 Bologna, Italy
Tel: +39 051 601 53 11 Fax: +39 051 39 20 62
Cochlear Nordic AB Konstruktionsvägen 14, 435 33 Mölnlycke, Sweden
Tel +46 31 335 14 61 Fax +46 31 335 14 60
Cochlear Tıbbi Cihazlar ve Sağlık Hizmetleri Ltd. Şti.
Çubuklu Mah. Boğaziçi Cad., Boğaziçi Plaza No: 6/1, Kavacık, TR-34805 Beykoz-Istanbul, Turkey
Tel: +90 216 538 5900 Fax: +90 216 538 5919
Cochlear (HK) Limited Room 1204, 12/F, CRE Building, No 303 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong SAR
Tel: +852 2530 5773 Fax: +852 2530 5183
Cochlear Korea Ltd 1st floor, Cheongwon building, 828-5, Yuksam dong, Kangnam gu, Seoul, Korea
Tel: +82 2 533 4663 Fax: +82 2 533 8408
Cochlear Limited (Singapore Branch) 6 Sin Ming Road, #01-16 Sin Ming Plaza Tower 2, Singapore 575585
Tel: +65 6553 3814 Fax: +65 6451 4105
Cochlear Medical Device (Beijing) Co Ltd
Unit 2208 Gemdale Tower B, 91 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100022, P.R. China
Tel: +86 10 5909 7800 Fax: +86 10 5909 7900
Cochlear Medical Device Company India Pvt. Ltd.
Ground Floor, Platina Building, Plot No C-59, G-Block, Bandra Kurla Complex, Bandra (E), Mumbai – 400 051, India
Tel: +91 22 6112 1111 Fax: +91 22 6112 1100
株式会社日本コクレア（**Nihon Cochlear Co Ltd**）〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-7 お茶の水元町ビル
Tel: +81 3 3817 0241 Fax: +81 3 3817 0245

www.cochlear.com

ACE、Advance Off-Stylet、AOS、AutoNRT、Autosensitivity、Beam、Clinicnet、Cochlear、Codacs、Contour、Contour Advance、Custom Sound、DermaLock、ESPrit、Freedom、「Hear now. And always」、Hybrid、inHear、Invisible Hearing、MP3000、myCochlear、NRT、Nucleus、Nucleus の中国語表記、Off-Stylet、SmartSound、Softip、SPrint、楕円形のロゴおよび Whisper は、Cochlear Limited の商標または登録商標です。Ardium、Baha、Baha Divino、Baha Intenso、Baha PureSound、Baha SoftWear および Vistafix は、Cochlear Bone Anchored Solutions AB の商標または登録商標です。
© Cochlear Limited 2013

Hear now. And always

466334 ISS1
Japanese translation of 472007 ISS1 OCT13
Printed in Australia

Cochlear™

Nucleus® CR230 リモートアシスタント

取扱説明書

Hear now. And always

Cochlear®

466334_1.01_JA_CR230_UG COV.indd 1 2014-1-6 15:54:43

概要

Cochlear™ Nucleus®（コクレア・ニュークレアス）CR230 リモートアシスタントは、Cochlear™ Nucleus® CP910およびCP920（CP900 シリーズ）サウンドプロセッサの操作と状態の確認を手元で行うための携帯型機器です。

本書は、Cochlear Nucleus CP910 および CP920 サウンドプロセッサを使用する人工内耳装用者およびその介助者を対象としています。

リモートアシスタントは CP810 サウンドプロセッサと互換性があります。

リモートアシスタントを使用すると、状態（電池残量など）とトラブルシューティングの詳細を含む、サウンドプロセッサの重要な情報にアクセスすることができます。

リモートアシスタントを使ってサウンドプロセッサの設定を調整できます。サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、リモートアシスタントを使って両方のサウンドプロセッサを操作することができます。

保護者または介助者の場合、リモートアシスタントを使って子どものサウンドプロセッサをチェックおよび管理することができます。

サウンドプロセッサの詳細については、「Cochlear™ Nucleus® CP910/CP920 サウンドプロセッサ取扱説明書」を参照してください。

アドバイス
CR230 リモートアシスタントと構成部品の使用に関連する警告および注意については、「警告」のセクションを参照してください。

メモ

466334_1.01_JA_CR230_UG COV.indd 2 2014-1-6 15:54:44

CR230 リモートアシスタント

前面

プログラムボタン

ディスプレイ

プログラムボタン

左矢印ボタン

OK ボタン

下矢印ボタン

プログラムボタン

ボタン操作ロック

プログラムボタン

ホームボタン

上矢印ボタン

右矢印ボタン

ストラップ
取り付け部

裏面

個人識別ラベル

スピーカー

ペア設定用
コイルマーク

リセットボタン

テレコイルボタン

製品情報ラベル

USB ケーブル
ソケット

概要

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 1 2014-1-6 15:02:19

持ち方と使用方法

リモートアシスタントは、手のひらにのせて持ちます。サウンドプロセッサから 2 メートル以内の距離で操作します。距離が 2 メートルを超えると、通信に時間がかかったり、通信が途絶える場合があります。

サウンドプロセッサとリモートアシスタントとの間の通信に干渉が発生した場合は、以下を試してください。

- リモートアシスタントの持ち方を変える。
- 干渉源となりうる電子機器から離れる。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 2 2014-1-6 15:02:27

操作

ホームボタンを押すと、前のメニューまたは**ホーム**画面に戻ります。

左矢印ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

OK ボタンを押すと、画面上のオプションを選択したり、メニューに入ります。

メッセージが表示された時に上または下矢印ボタンを押すと、メニューのオプションを選択したり、設定を変更できます。

右矢印ボタンを押すと、次の画面に進みます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 3 2014-1-6 15:02:30

ロック/ロック解除

リモートアシスタントをロックすると、操作ボタンが誤って押されるのを防げます。

ボタン操作ロックを下にスライドするとリモートアシスタントがロックされ、上にスライドするとロックは解除されます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 4 2014-1-6 15:48:27

ボタン操作ロックを上下にスライドすると、［ロック解除されました］または［ロックされました］画面が表示されます。

ロックされている間はリモートアシスタントの電源を切ることはできません。

ヒント
ボタン操作ロックを使うと、リモートアシスタントの電池残量が表示されます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 5 2014-1-6 15:02:36

アドバイス
人工内耳システムに適用される、警告、予防措置および電磁適合性などに関する重要な情報については、「警告と予防措置の手引き」を参照してください。

本書で使用する記号

アドバイス
重要な情報またはアドバイスです。

ヒント
効率的にお使いいただくためのヒントです。

注意
安全かつ有効にお使いいただくための注意事項です。機器が破損する恐れがあります。

警告
安全上の問題、または重篤な有害反応が起こる可能性があります。
人体に有害となる恐れがあります。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 6 2014-1-6 15:02:38

セクションガイド

概要 ii

充電 11

電源を入れる 15

使用する 21

調整する 39

設定 45

お手入れ 57

トラブルシューティング 61

警告 70

その他の情報 71

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 7 2014-1-6 15:02:39

目次

概要 ii
前面 1
裏面 1
持ち方と使用方法 2
操作 3
ロック/ロック解除 4

充電 11

電源を入れる 15
言語の選択 16
ペア設定 17
電源を切る 19

使用する 21
状態確認アイコン 22
ホーム画面のプログラム表示 24
SCAN プログラム 25
カスタムプログラム 26
プログラムの変更 27
プログラム名ではなく
番号で表示 27
練習モード 28
アドバンスモード 31
テレコイルの使用 32
オーディオアクセサリ 34
2 台のサウンドプロセッサの
操作 35

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 8 2014-1-6 15:02:39

調整する 39
音量と感度 41
低音と高音 42
主音量 43

設定 45
テレコイルミキシング比率 47
アクセサリミキシング比率 48
左/右の調整 49
サウンドプロセッサのボタン操作 50
サウンドプロセッサのパーソナルアラーム 50
サウンドプロセッサの表示ランプ 51
リモートアシスタントのパブリックアラーム 52
警告画面 53
SCAN アイコン 54

お手入れ 57
清掃 58
保管 59

トラブルシューティング . . . 61
警告画面 62
システムの詳細の表示 64
サウンドプロセッサの設定のリセット 65
リモートアシスタントのリセット 66
その他の問題 67

警告 70

その他の情報 71

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 9 2014-1-6 15:02:40

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 10 2014-1-6 15:02:40

充電

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 11 2014-1-6 15:02:40

リモートアシスタントの充電

コクレア社は以下の場合にリモートアシスタントをフル充電することを推奨します。

- リモートアシスタントを初めて使用する前に
- リモートアシスタントの**電池残量表示**画面に電池残量が少ないことが表示されたとき
- リモートアシスタントに電池残量が少ないまたは電池切れと表示されていなくても、週に 1 回

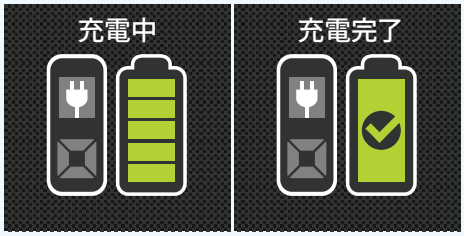
ヒント
リモートアシスタントは内蔵電池を使用しています。この電池はコクレア社のサービスマン以外は取り外しをしないでください。電池を交換するには、リモートアシスタントをコクレア社の修理センターに送付してください。

内蔵の充電池が完全に放電した場合、充電完了までに 2 ～ 4 時間かかることがあります。充電池が古くなると充電にかかる時間が長くなる場合があります。

フル充電されたリモートアシスタントは、1 ～ 2 週間の動作が可能です。ただし、1 回の充電に対する電池寿命は以下の条件によって異なります。

- 使用量
- 使用していないときにリモートアシスタントの電源を切っているかどうか
- リモートアシスタントで操作しているサウンドプロセッサが 1 台か 2 台か

内蔵の充電池の耐用期間は、最低 400 充電サイクルです。

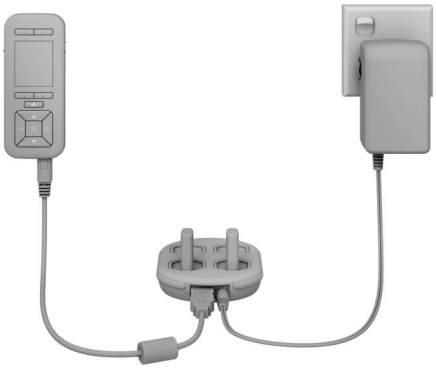


ヒント
正しく充電されている時は、［充電中］画面が表示され、充電が完了すると［充電完了］画面に変わります。

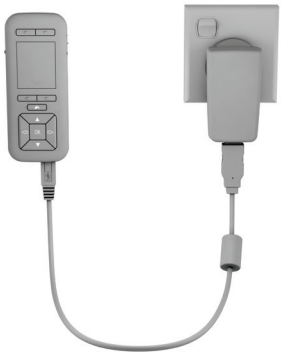
注意
リモートアシスタントの充電には、必ずコクレア社が提供する充電機器を使用してください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 12 2014-1-6 15:02:41

リモートアシスタントの充電には 3 つの方法があります。



A Cochlear™ Nucleus® 充電器と Cochlear™ Nucleus® 充電キットを使用する。



B Cochlear™ Nucleus® CR200 シリーズ充電キットを使用する。

アドバイス
リモートアシスタントをコンセントに接続している間は電源を切らないでください。

C コンピュータの USB ポートを使用する。リモートアシスタントを充電している間は、コンピュータの電源を入れたままにします。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 13 2014-1-6 15:02:48

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 14 2014-1-6 15:02:48

電源を入れる

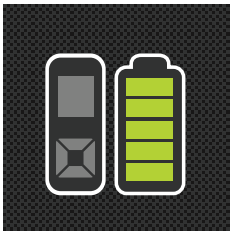
電源を入れる 16
言語の選択 16
ペア設定 17
電源を切る 19

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 15 2014-1-6 15:02:48

電源を入れる

リモートアシスタントの電源を入れるには、2 つの**起動**画面が表示されるまで OK ボタンを長押しします。**起動**画面の後に**電池残量表示**画面と**ホーム**画面が表示されます。

起動画面



電池残量表示画面

アドバイス
リモートアシスタントを初めて使用する際は、ホーム画面ではなく［言語の選択］画面が表示されます。

言語の選択

リモートアシスタントを初めて使用する際は、以下の手順で言語を選択するよう求められます。

1. ［言語の選択］画面が表示されたら、上または下矢印ボタンを押して選択する言語を強調表示します。

ヒント
誤った言語を選択した場合は、リモートアシスタントをリセットすると、やり直すことができます（66 ページの「リモートアシスタントのリセット」を参照）。

アドバイス
リモートアシスタントの電源を切った後も、選択した言語が記憶されています。

2. OK ボタンを押して選択します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 16 2014-1-6 15:02:50

ペア設定

ペア設定を行うと、リモートアシスタントとサウンドプロセッサ間の通信ができるようになります。

サウンドプロセッサがリモートアシスタントとペア設定されていない場合、[ペア設定されていません]画面が表示されます。サウンドプロセッサの送信コイルをリモートアシスタントの裏面に当ててペア設定してください。

リモートアシスタントが既にサウンドプロセッサとペア設定されている場合でも、別のサウンドプロセッサともいつでもペア設定することができます。

ペア設定の前に、サウンドプロセッサの電源が入っていることを確認してください。

1. 送信コイルをリモートアシスタント裏面のコイルマークに当てます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 17 2014-1-6 15:02:54

［ペア設定しますか ?］画面が表示されます。

2. OK ボタンを押してペア設定します。

アドバイス
サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、2 台目のサウンドプロセッサに対して手順 1 と 2 を繰り返す必要があります。

ペア設定が完了すると、［ペア設定しました］画面が表示された後、**ホーム**画面に戻ります。

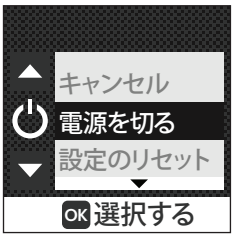
ヒント
1 台のサウンドプロセッサに対して、複数のリモートアシスタントおよびリモートコントロールをペア設定することができます。この機能は、学校と自宅、自宅と病院などを行き来する装用者が、2 つの場所でリモートアシスタントやリモートコントロールを必要とする場合に役立ちます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 18 2014-1-6 15:02:55

電源を切る

リモートアシスタントの電源を切るには

1. メニューが表示されるまで OK ボタンを長押しします。



［電源を切る］が強調表示されています。

2. OK ボタンを押して選択します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 19 2014-1-6 15:02:55

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 20 2014-1-6 15:02:55

使用する

状態確認アイコン 22
ホーム画面のプログラム表示 24
練習モード 28
アドバンスモード 31
テレコイルの使用 32
オーディオアクセサリ 34
2 台のサウンドプロセッサの操作 35

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 21 2014-1-6 15:02:55

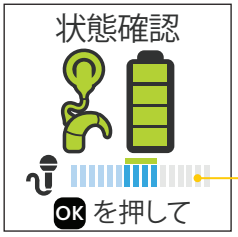
状態確認アイコン

リモートアシスタントでは、電池残量などサウンドプロセッサの重要な情報を表示することができます。

サウンドプロセッサの状態を確認する

サウンドプロセッサの状態を確認するには、**ホーム**画面で OK ボタンを押します。［状態確認］アニメーション画面が 2 つ続けて表示されます。

1 つ目の［**状態確認**］画面には、サウンドプロセッサの状態が表示されます。緑色は正常に動作していることを示します。

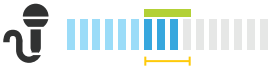


2 つ目の［**状態確認**］画面には、サウンドプロセッサの電池残量とマイクロホンのサウンドレベルの情報が表示されます。

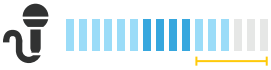
サウンドメータバー

サウンドメータバーはサウンドプロセッサのマイクロホンが拾っている音の大きさを表します。

小音量
(20 ～ 50 dBA)



中音量
(50 ～ 70 dBA)



大音量
(70 ～ 100 dBA)

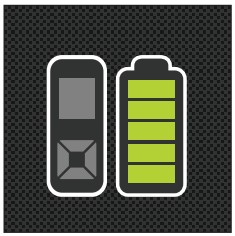
466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 22 2014-1-6 15:02:56

ヒント
2 つ目の［状態確認］画面に、電池ではなく砂時計が数秒間表示される場合があります。これはリモートアシスタントがサウンドプロセッサからのアップデートを待機中であることを示します。

サウンドプロセッサまたは電池に何らかの不具合が発生している場合は、警告画面が表示されます。62 ページの「警告画面」を参照してください。

リモートアシスタントの電池残量を確認する

リモートアシスタントの電源を入れると、最初にリモートアシスタントの**電池残量**が表示されます。

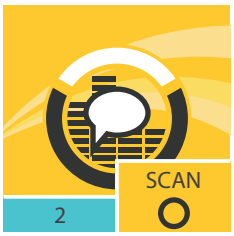


466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 23 2014-1-6 15:02:56

ホーム画面のプログラム表示

ほとんどの装用者はサウンドプロセッサに 2 つのプログラムを設定していますが、聴こえ方やニーズに応じて最大 4 つまでのプログラムを病院の先生に設定してもらうことができます。設定されたプログラムは、リモートアシスタントの**ホーム**画面に表示されます。

例 :

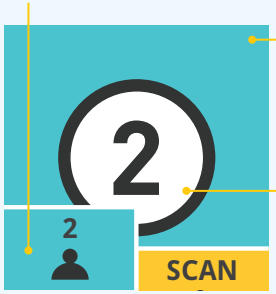


プログラムが 2 つの場合の**ホーム**画面

プログラムが 4 つの場合の**ホーム**画面

ヒント
ホーム画面の背景の絵と色は、現在どのプログラムを選択しているかによって異なります。

現在選択しているプログラムのタブは他のものより大きく表示されます。



現在選択しているプログラムと画面の背景は同じ色になります。

画面の絵は現在選択しているプログラムを表します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 24 2014-1-6 15:02:57

SCAN プログラム

SCAN プログラム（病院の先生が設定した場合）を選択している時は、このプログラムが周囲の環境を識別して、現在の聴取環境に合わせてサウンドプロセッサを自動的に調整します。

SCAN プログラムに関連するアイコン

SCAN

静寂下

雑音

話し声

話し声（雑音下）

風

音楽

アドバイス
SCAN プログラムに関連するアイコンは［設定］画面に移動してから［SCAN アイコン］画面に移動して、非表示にすることができます。SCAN アイコンを非表示にすると、SCAN 機能は正常に動作しますが、ホーム画面のアイコンは変化しません。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 25 2014-1-6 15:02:58

カスタムプログラム

ご自身の聴こえ方に合わせたカスタムプログラムを病院の先生に調整してもらった場合、それぞれのカスタムプログラムに合わせて表示するアイコンを設定してもらうことができます。これらのアイコンを見れば、どのプログラムを現在選択しているかが分かります。

1対1

レストラン

ドライブ

遠くの音声

会議

自宅

音楽

屋外

学校

店

テレビ

職場

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 26 2014-1-6 15:02:59

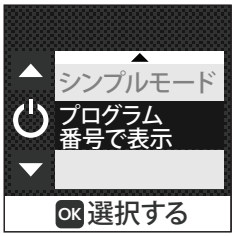
プログラムの変更

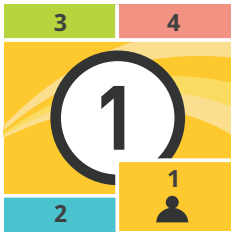
病院の先生にプログラムを最大 4 つまで設定してもらうことができます。プログラムの切り替えにはプログラムボタンを使います。

プログラム名ではなく番号で表示

ホーム画面にプログラム名ではなくプログラム番号で表示したい場合は

1. OK ボタンを長押ししてメニューを表示します。
2. 下矢印ボタンを押して［プログラム番号で表示］を強調表示します。





3. OK ボタンを押して選択します。

ヒント
プログラム名での表示に戻すには、メニューを表示して、［プログラム名で表示］を選択します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 27 2014-1-6 15:03:02

練習モード

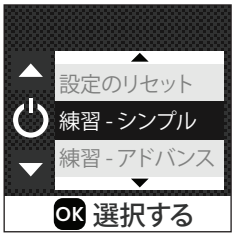
リモートアシスタントを実際に使用する前に、練習モードを利用して使い方に慣れることができます。

アドバイス
練習モードでは、設定に対して行われた調整または変更は保存されず、サウンドプロセッサにも送信されません。

練習モードを開始するには

1. OK ボタンを長押しします。

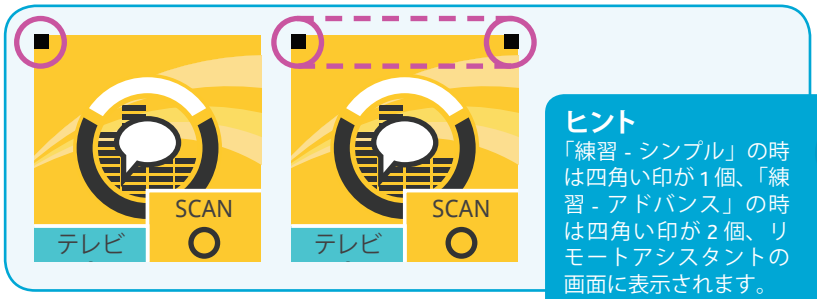
2. メニューが表示されたら、下矢印ボタンを押して［練習 - シンプル］または［練習 - アドバンス］を強調表示します。



466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 28 2014-1-6 15:03:02

3. OK ボタンを押して選択します。

［練習モード開始］画面が数秒間表示された後、練習モードの**ホーム**画面が表示されます。



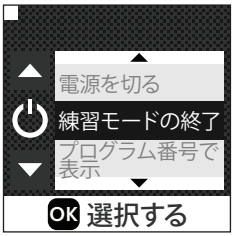
ヒント
「練習 - シンプル」の時は四角い印が 1 個、「練習 - アドバンス」の時は四角い印が 2 個、リモートアシスタントの画面に表示されます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 29 2014-1-6 15:03:02

練習モードの終了

練習モードを終了するには

1. OK ボタンを長押ししてメニューを表示します。



［練習モードの終了］が強調表示されています。

2. OK ボタンを押して選択します。

［練習モード終了］画面が数秒間表示された後、**ホーム**画面が表示されます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 30 2014-1-6 15:03:03

アドバンスモード

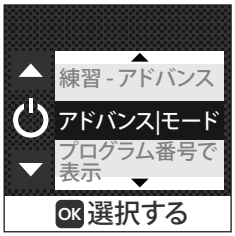
リモートアシスタントは初期設定では、シンプルモードに設定されています。シンプルモードでは、聴こえに関する主な機能が使用できます。

必要に応じて、アドバンスモードに切り替えると、サウンドプロセッサとリモートアシスタントの設定を調整することができます。

アドバンスモードに変更するには

1. OK ボタンを長押ししてメニューを表示します。

2. 下矢印ボタンを押して［アドバンスモード］を強調表示します。



3. OK ボタンを押して選択します。

アドバンスモードの状態で以下の画面まで移動し、聴こえの調整や設定の変更を行います。

アドバイス
［聴こえの調整］画面は、病院の先生が有効にした場合にのみ表示されます。

詳細については、43 ページの「主音量」および 46 ページの「設定」を参照してください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 31 2014-1-6 15:03:04

テレコイルの使用

テレコイル機能を使用すると、磁気ループからの音を聴いたり、テレコイル対応電話の声を聞くことができます。テレコイル機能には手動によるテレコイルとオートテレコイルがあり、使用するためには病院の先生にサウンドプロセッサを設定してもらう必要があります。オートテレコイルを起動すると、磁気ループの範囲内にいる時や、テレコイル対応の電話を使う時に、音声信号が自動的に検知されます。

サウンドプロセッサにオーディオアクセサリが接続されている時は、テレコイル機能を使用できません。

テレコイルまたはオートテレコイルを使用するには

1. テレコイルボタンを 1 回押すと、テレコイルが起動します。
2. テレコイルボタンを 5 秒以内にもう一度押すと、オートテレコイルが起動します。
3. テレコイルボタンをもう一度押すと、テレコイルまたはオートテレコイルが停止します。

ヒント
サウンドプロセッサを 2 台お使いで、1 台のサウンドプロセッサにアクセサリが接続されている場合、リモートアシスタントのテレコイルボタンまたはサウンドプロセッサのアップボタンを押すとアクセサリを操作できます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 32 2014-1-6 15:03:07

テレコイルまたはオートテレコイルを使用する場合、以下のアイコンが**ホーム**画面に表示されます。

テレコイル

テレコイル オン

サウンドプロセッサに内蔵されたテレコイルが作動中です。

オートテレコイル

オートテレコイル オン（受信中）

オートテレコイルがオンで、サウンドプロセッサが磁気ループまたは電話の通信範囲内にいて信号を検知し、受信している状態です。

オートテレコイル オン（スタンバイ）

オートテレコイルがオンですが、サウンドプロセッサが磁気ループまたは電話からの信号を検知していない状態です。

テレコイルまたはオートテレコイルがオフ

このアイコンは、テレコイルまたはオートテレコイルを停止した時に画面に数秒間表示されます。

注意

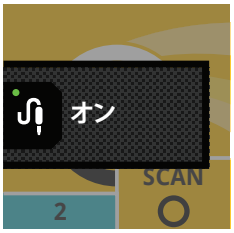
オートテレコイルがオンの時に、特定の電子機器または機械からの信号を検知し、受信してしまうことがあります（ブーンという音が聞こえることがあります）。この場合は、その機器または機械から離れ、オートテレコイルが信号を受信しなくなるまで数秒間待つか、手動でオートテレコイルを停止します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 33 2014-1-6 15:03:08

オーディオアクセサリ

オーディオアクセサリをサウンドプロセッサに接続すると、リモートアシスタントに「オン」というポップアップが数秒間表示されます。アクセサリが接続されている間は、小さいアイコンが**ホーム**画面の上に重ねて表示され、アクセサリを外すと、「接続解除済み」というポップアップが数秒間表示されます。

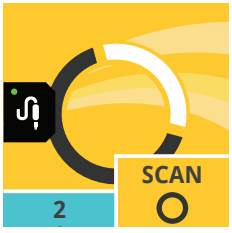
例 :



アクセサリを起動した時

アクセサリを停止した時

アクセサリを外した時



アクセサリが接続されると、すぐにサウンドプロセッサに音声を送信します。

アクセサリが「オン」の状態の場合、緑色の点の付いた小さいアイコンが**ホーム**画面に表示されます。

アクセサリをサウンドプロセッサに接続したまま、サウンドプロセッサのマイクロホンからの音声を聴くには、アクセサリからの入力を手動で停止する必要があります。接続されているアクセサリを操作（起動 / 停止）するには、テレコイルボタンを使います。32 ページの「テレコイルの使用」を参照してください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 34 2014-1-6 15:03:10

2 台のサウンドプロセッサの操作

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、リモートアシスタントの画面に、サウンドプロセッサを識別するための「左」および「右」の文字が表示されることがあります。

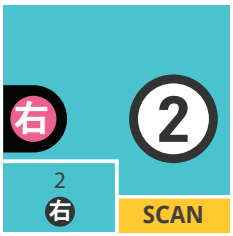
例 :

初期設定では、リモートアシスタントによる調整は両側のサウンドプロセッサに対して同時に行われますが、この設定を変更して、2 台のサウンドプロセッサを片側ずつ調整することもできます。49 ページの「左 / 右の調整」を参照してください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 35 2014-1-6 15:03:10

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、アドバンスモード時のオプションでサウンドプロセッサを片側ずつ操作することができます。［左/右の調整］画面（［設定］画面から進む）で［片側ずつ］を選択すると、リモートアシスタントに表示される画面に従い、2 台のサウンドプロセッサを片側ずつ調整することができます。

例 :



左**ホーム**画面および右**ホーム**画面

左**音量**画面および右**音量**画面

これらの設定の変更方法の詳細については、49 ページの「左/右の調整」を参照してください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 36 2014-1-6 15:03:11

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 37 2014-1-6 15:03:11

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 38 2014-1-6 15:03:11

調整する

音量と感度 41
低音と高音 42
主音量 43

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 39 2014-1-6 15:03:11

調整する

リモートアシスタントで音量、感度、低音、高音、主音量を調整できるように、病院の先生に設定してもらうことができます。

これらの操作がリモートアシスタントに設定されている場合、**ホーム**画面で右矢印ボタンを押すと調整画面に移動することができます。

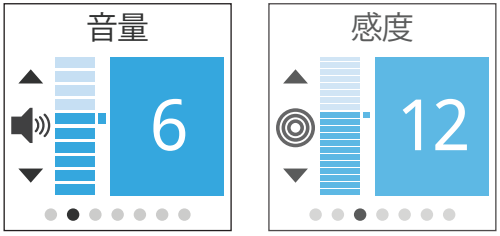
466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 40 2014-1-6 15:03:11

音量と感度

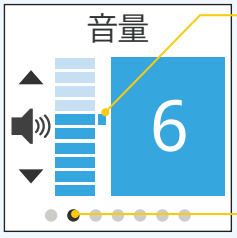
音量は聞こえる音の大きさを調整し、感度は聞こえる音の範囲を調整します（小さな音、背景音、近くや遠くの音など）。最大10段階の音量と21段階の感度の設定が可能です。

音量または感度レベルを調整するには

1. **ホーム**画面から、右矢印ボタンを押して［音量］または［感度］画面に移動します。



2. 上または下矢印ボタンを押して音量または感度を上げ下げします。



これは病院の先生が設定した初期値を示します。

これは**ホーム**画面からいくつ目の画面にいるかを示します。

ヒント
音量（または設定されている場合は感度）をホーム画面から直接調整するには、上または下矢印ボタンを押します。

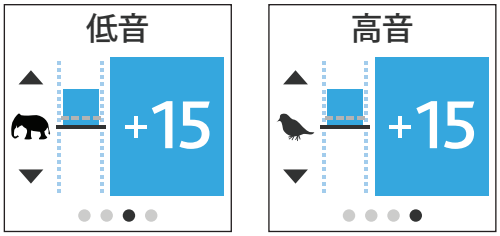
466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 41 2014-1-6 15:03:11

低音と高音

病院の先生が有効に設定している場合、リモートアシスタントで低音または高音の聞こえ方を調整することができます。これらの調整は、［低音］または［高音］画面で行います。

低音または高音レベルを調整するには

1. **ホーム**画面から、右矢印ボタンを押して［低音］または［高音］画面に移動します。



2. 上または下矢印ボタンを押して低音または高音レベルを上げ下げします。

低音および高音のレベルは、-30 ～ +30 の 60 段階あります。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 42 2014-1-6 15:03:12

アドバンスモードのみ

主音量

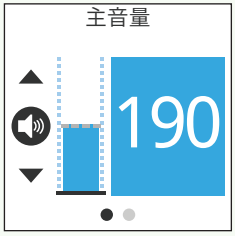
病院の先生が低音および高音をリモートアシスタントで調整できるよう設定している場合、主音量も調整できます。主音量では、サウンドプロセッサの全体的な音の大きさを調整できます。

主音量レベルを調整するには

1. **ホーム**画面から、右矢印ボタンを押して［聴こえの調整］画面に移動します。

注意
これらのレベルは音や話し声が聞こえる時にのみ調整してください。主音量を上げると大音量や高音レベルにより不快感が生じる場合があります。この場合は、送信コイルとサウンドプロセッサを直ちに外してください。送信コイルを戻す前に主音量を下げてください。

2. OK ボタンを押します。



3. ［主音量］画面で、上または下矢印ボタンを押して主音量を上げ下げします。
4. ちょうど良い音量になったら、ホームボタンを押して［聴こえの調整］画面に戻ります。

主音量レベルの範囲は 0 ～ 255 です。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 43 2014-1-6 15:03:12

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 44 2014-1-6 15:03:12

設定

テレコイルミキシング比率 47
アクセサリミキシング比率 48
左/右の調整 49
サウンドプロセッサのボタン操作 50
サウンドプロセッサのパーソナルアラーム 50
サウンドプロセッサの表示ランプ 51
リモートアシスタントのパブリックアラーム 52
警告画面 53
SCAN アイコン 54

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 45 2014-1-6 15:03:12

アドバンスモードのみ

設定

アドバンスモードでは、サウンドプロセッサとリモートアシスタントの動作方法を変更するための設定にアクセスできます。

［**設定**］画面から以下の操作に進めます。

- テレコイルとマイクロホンのミキシング比率の調整
- アクセサリとマイクロホンのミキシング比率の調整
- 左/右のサウンドプロセッサの調整（サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合）
- サウンドプロセッサのボタン操作のロック/ロック解除
- サウンドプロセッサのパーソナルアラームのオン/オフ
- サウンドプロセッサの表示ランプのオン/オフ
- リモートアシスタントのパブリックアラームの音量調整
- リモートアシスタントの警告画面の表示/非表示
- リモートアシスタントの SCAN アイコンの表示/非表示

ヒント

［設定］画面に移動するには、ホーム画面で右矢印ボタンを何度か押します。

変更後は、ホームボタンを押すと［設定］画面に戻ります。ホームボタンをもう一度押すとホーム画面に戻ります。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 46 2014-1-6 15:03:12

アドバンスモードのみ

テレコイルミキシング比率

ミキシングは、テレコイルとマイクロホンの入力を合成することができます。

テレコイルとマイクロホンのミキシング比率を調整するには

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. ［テレコイルミキシング比率］画面が表示されたら、上または下矢印ボタンを押してミキシング比率を変更します。

画面の数字は、ミキシングするテレコイルの音とマイクロホンの音の比率を示します。

数字	音声ミキシング比率
100	すべてテレコイル (100%)
6	テレコイル 6 に対しマイクロホン 1
5	テレコイル 5 に対しマイクロホン 1
4	テレコイル 4 に対しマイクロホン 1
3	テレコイル 3 に対しマイクロホン 1
2	テレコイル 2 に対しマイクロホン 1
1	テレコイル 1 に対しマイクロホン 1

ヒント
テレコイル入力の比率を高くして背景音を下げるには、［テレコイルミキシング比率］画面に表示される数字を大きくします。テレコイル使用時に背景音をもっと聞こえるようにするには、数字を小さくします。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 47 2014-1-6 15:03:13

アドバンスモードのみ

アクセサリミキシング比率

アクセサリとマイクロホンのミキシング比率を調整する（Cochlear Nucleus オーディオ接続ケーブルを使って音楽を聴く場合など）には

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して［アクセサリミキシング比率］画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押してミキシング比率を変更します。

画面の数字は、ミキシングするアクセサリの音とマイクロホンの音の比率を示します。

数字	音声ミキシング比率
100	すべてアクセサリ (100%)
6	アクセサリ 6 に対しマイクロホン 1
5	アクセサリ 5 に対しマイクロホン 1
4	アクセサリ 4 に対しマイクロホン 1
3	アクセサリ 3 に対しマイクロホン 1
2	アクセサリ 2 に対しマイクロホン 1
1	アクセサリ 1 に対しマイクロホン 1

ヒント
アクセサリ入力の比率を高くして背景音を下げるには、［アクセサリミキシング比率］画面に表示される数字を大きくします。アクセサリ使用時に背景音をもっと聞こえるようにするには、数字を小さくします。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 48 2014-1-6 15:03:13

アドバンスモードのみ

左/右の調整

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、リモートアシスタントでサウンドプロセッサを両側同時に、または片側ずつ調整することができます。

この設定を調整するには

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して［左/右の調整］画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して、2 台のサウンドプロセッサを同時に調整する場合は［両側同時］を、1 台ずつ調整する場合は［片側ずつ］を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。

これらの機能の詳細については、35 ページの「2 台のサウンドプロセッサの操作」を参照してください。

設定

アドバイス
この機能は 2 台のサウンドプロセッサをお使いの場合のみ利用可能です。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 49 2014-1-6 15:03:14

アドバンスモードのみ

サウンドプロセッサのボタン操作

誤ってボタンを押して設定を変更してしまわないように、サウンドプロセッサのボタンをロックすることができます。

サウンドプロセッサのボタン操作をロックするには

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して［プロセッサのボタン操作］画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して［有効（ロック解除）］または［ロック］を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。

サウンドプロセッサのパーソナルアラーム

パーソナルアラームはオンとオフの切り替えができます。

パーソナルアラームを変更するには

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して［パーソナルアラーム］画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して［オフ］または［オン］を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。

アドバイス
パーソナルアラームは人工内耳装用者にのみ聞こえます。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 50 2014-1-6 15:03:14

アドバンスモードのみ

サウンドプロセッサの表示ランプ

サウンドプロセッサの各種表示ランプはオン/オフの切り替えができます。以下の表に様々なオプションを示します。

	表示のタイプ			
	キーを押す	警告	マイクロホンの動作	テレコイル/アクセサリ/FM
オプション	**表示の有無**			
小児用	あり	あり	あり	あり
モニタリング				
サウンドプロセッサがインプラントに接している場合	あり	あり	なし	なし
サウンドプロセッサがインプラントから離れている場合	あり	あり	なし	あり
成人用				
サウンドプロセッサがインプラントに接している場合	なし	なし	なし	なし
サウンドプロセッサがインプラントから離れている場合	あり	あり	なし	なし
一時停止	なし	なし	なし	なし

サウンドプロセッサの表示ランプを変更するには

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して［表示ランプ］画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して［小児用］、［モニタリング］、［成人用］または［一時停止］を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。

アドバイス
［一時停止］は臨時モードです。サウンドプロセッサの電源を切ってから再度電源を入れると、サウンドプロセッサの表示ランプは病院の先生が設定したモードに戻ります。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 51 2014-1-6 15:03:14

アドバンスモードのみ

リモートアシスタントのパブリックアラーム

アドバンスモードでは、パブリックアラームやキー操作音の音量を調整することができます。

リモートアシスタントのパブリックアラームを調整するには

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して［パブリックアラーム］画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して［オフ］、［小］または［大］を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 52 2014-1-6 15:03:14

アドバンスモードのみ

警告画面

警告画面は、サウンドプロセッサまたはリモートアシスタントで起こりうる問題、たとえば電池残量低下などの情報を提供します。ただし、警告画面は設定を変更して表示/非表示を切り替えることができます。

警告画面の設定を変更するには

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して［警告画面］に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して［非表示］または［表示］を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。

詳細については、62 ページの「警告画面」を参照してください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 53 2014-1-6 15:03:15

アドバンスモードのみ

SCAN アイコン

SCAN プログラムを使用している場合、**ホーム**画面に表示されるアイコンは、サウンドプロセッサが検知した聴取環境のタイプを示します。

この設定を変更して SCAN アイコンの表示/非表示を切り替えることができます。

SCAN アイコンの設定を変更するには

1. ［設定］画面に移動して OK ボタンを押します。
2. 右矢印ボタンを押して［SCAN アイコン］画面に移動します。
3. 上または下矢印ボタンを押して［非表示］または［表示］を強調表示します。
4. OK ボタンを押して選択します。

詳細については、25 ページの「SCAN プログラム」を参照してください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 54 2014-1-6 15:03:15

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 55 2014-1-6 15:03:15

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 56 2014-1-6 15:03:15

お手入れ

清掃　58
保管　59

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 57　2014-1-6 15:03:15

清掃

リモートアシスタントは濡らさないでください。

リモートアシスタントは、ディスプレイと操作ボタンを乾いた柔らかい布で拭いて清潔に保ってください。

警告
リモートアシスタントを乾燥させるために、オーブン、電子レンジ、その他の電気または加熱機器を使用しないでください。

リモートアシスタントが濡れた場合

1. リモートアシスタントの電源を切ります。
2. 乾いた柔らかい布で拭きます。
3. リモートアシスタントを約 12 時間乾燥させます。

アドバイス
リモートアシスタントのお手入れに、アルコール、家庭用の洗剤または研磨剤を使用しないでください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 58 2014-1-6 15:03:17

保管

リモートアシスタントを衝撃や傷から守るため、コクレア社はCochlear™ Nucleus® CR200 シリーズの保護カバーの使用を推奨します。

リモートアシスタントを保護カバーに入れたまま使用すると、通信範囲が若干狭まる可能性があります。この場合は、リモートアシスタントをサウンドプロセッサに近付けるか、リモートアシスタントを保護カバーから出して使用してください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 59 2014-1-6 15:03:17

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 60 2014-1-6 15:03:17

トラブルシューティング

警告画面 62
システムの詳細の表示 64
サウンドプロセッサの設定のリセット 65
リモートアシスタントのリセット 66
その他の問題 67

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 61 2014-1-6 15:03:17

警告画面

何らかの問題が発生すると、リモートアシスタントに警告画面が表示されます。これらの画面には、問題の解決に役立つトラブルシューティング情報も表示されます。

問題の内容

問題の解決方法

警告は注意を促すためのメッセージ（電池残量低下など）の場合もありますが、リモートアシスタントの使用を続ける前に実施が必要な対処を示す警告もあります（電池切れなど）。

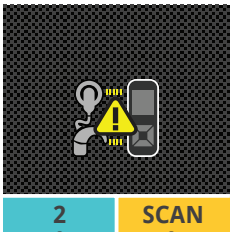
466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 62 2014-1-6 15:03:18

ロック中の警告

リモートアシスタントの操作ボタンのロック中に警告が発生した場合、リモートアシスタントのパブリックアラームが鳴り、画面がスリープ状態から復帰して[ロック]画面と警告が表示されます。リモートアシスタントの操作ボタンのロックを解除して警告された内容を解決してください。

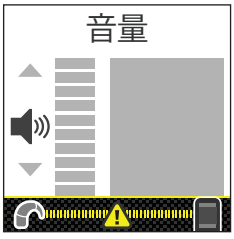
通信範囲外警告

通信範囲外の場合、警告が**ホーム**画面上とすべての移動先画面の下部に表示されます。ただし、アラーム音は鳴りません。



通信範囲外での調整

通信範囲外でサウンドプロセッサを調整すると、画面全体に通信範囲外警告が表示されます。OK ボタンを押すと警告が消えます。その後、直前に表示していた画面に戻ります。



466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 63 2014-1-6 15:03:20

アドバンスモードのみ

システムの詳細の表示

アドバンスモードでは以下のようなシステムの詳細を表示することができます。

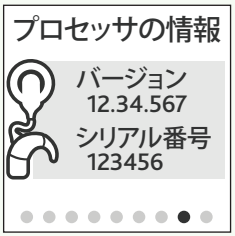
- リモートアシスタントのバージョン
- サウンドプロセッサのバージョン
- シリアル番号

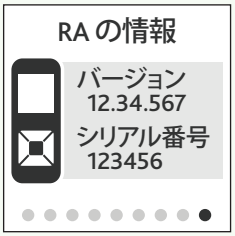
システムの詳細を表示するには

1. **ホーム**画面から、右矢印ボタンを押して［設定］画面に移動します。

2. OK ボタンを押します。

3. ［プロセッサの情報］および［RA（リモートアシスタント）の情報］画面が表示されるまで右矢印ボタンを何度か押します。





ヒント
ホームボタンを押すと、［設定］画面に戻ります。ホームボタンをもう一度押すと、ホーム画面に戻ります。

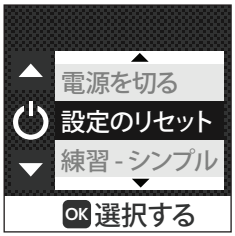
466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 64 2014-1-6 15:03:20

サウンドプロセッサの設定のリセット

サウンドプロセッサを病院の先生が設定した初期設定に戻すには、リモートアシスタントで［設定のリセット］を選択します。これにより、音量、感度、およびすべてのアドバンスモードオプションがリセットされます。

サウンドプロセッサの設定をリセットするには

1. メニューが表示されるまで OK ボタンを長押しします。
2. 上または下矢印ボタンを押して［設定のリセット］を強調表示します。



アドバイス
サウンドプロセッサとのペア設定を行っていない場合、［設定のリセット］にはアクセスできますが、リセットされるのは［パブリックアラーム］と［警告画面］だけです。

3. OK ボタンを押して選択します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 65 2014-1-6 15:03:21

リモートアシスタントのリセット

ホームボタンが機能しない、またはリモートアシスタントがフリーズした場合、先の尖ったものでリモートアシスタント裏面のリセットボタンを押すと、リセットすることができます。

これによりリモートアシスタントが初期設定に戻ります。

以下を再び行う必要があります。

- 言語の選択
- リモートアシスタントのパブリックアラームの音量の設定（初期設定は［大］）
- リモートアシスタントとサウンドプロセッサのペア設定
- 警告画面の表示/非表示の設定（初期設定は［表示］）
- SCAN アイコンの表示/非表示の設定（初期設定は［表示］）
- シンプルモードまたはアドバンスモードの選択（初期設定は［シンプルモード］）
- サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、左/右の調整の設定（初期設定は［両側同時］）

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 66 2014-1-6 15:03:24

その他の問題

問題	解決策
サウンドプロセッサが利用不可	1. サウンドプロセッサの電源が入っていて、リモートアシスタントから 2 メートルの範囲内にあることを確認します。16 ページの「電源を入れる」を参照してください。 2. サウンドプロセッサがリモートアシスタントとペア設定されていることを確認します。17 ページの「ペア設定」を参照してください。 3. 別の場所へ移動します。 4. サウンドプロセッサとリモートアシスタントを再度ペア設定します。 5. サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合、トラブルシューティングのため正しい側が選択され表示されていることを確認します。49 ページの「左 / 右の調整」を参照してください。 6. 問題が解消されない場合は、病院の先生にご連絡ください。
キーを押しても反応しない	1. リモートアシスタントの操作ボタンがロックされているときにキーを押すと、［ロック］画面が表示され、アラーム音（パブリックアラーム）が聞こえます。この場合は、ロックを解除してください。4 ページの「ロック/ロック解除」を参照してください。 2. 別のプログラムに変更してみてください。27 ページの「プログラムの変更」を参照してください。 3. 別のキーを押してみてください。 4. 正しいキーを押していることを確認してください。 5. リモートアシスタント裏面のリセットボタンを押します。66 ページの「リモートアシスタントのリセット」を参照してください。 6. 問題が解消されない場合は、病院の先生にご連絡ください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 67 2014-1-6 15:03:24

問題	解決策
リモートアシスタントの内蔵充電池の減りが速い	1. リモートアシスタントのキーがハンドバックやポケットの中身などによって押されていないか確認します。リモートアシスタントをロックして内蔵充電池の電力を節約します。 2. 充電した時は、コンセントを抜く前に、充電完了を示す電池のチェックマークが画面に表示されていることを確認してください。 3. 問題が解消されない場合は、病院の先生にご連絡ください。
リモートアシスタントが充電されない	1. 接続を確認します。 2. リモートアシスタントの USB コネクタをチェックし、損傷や汚れがないことを確認します。 3. リモートアシスタントをコンピュータを使って充電している場合、コンピュータの電源が入っていてスリープ状態ではないことを確認します。 4. USB ケーブルと電源アダプタ（Cochlear Nucleus CR200 シリーズ充電キットに付属）を使って、リモートアシスタントを充電してください。 12 ページの「リモートアシスタントの充電」を参照してください。 5. 問題が解消されない場合は、病院の先生にご連絡ください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 68 2014-1-6 15:03:24

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 69 2014-1-6 15:03:24

警告

- リモートアシスタントがいつもよりも熱くなっている場合は、使用しないでください。すぐに病院の先生に知らせてください。
- リモートアシスタントの充電には、コクレア社が提供する充電機器のみを使用してください。
- リモートアシスタントを体内（口の中など）に入れないでください。
- サウンドプロセッサ、送信コイル、イヤフックがジュエリー（イヤリングなど）に引っかかったり、機械に巻き込まれないようにしてください。
- 保護者や介助者の方の目の届かない所で、お子さまなどが長いケーブル（USB ケーブルなど）を使用すると、首が絞まってしまう恐れがありますのでご注意ください。
- 運転中はリモートアシスタントの操作をしないでください。
- 汚れた埃っぽい場所や、極端に高温または低温になる場所で機器を使用または保管しないでください（たとえば、直射日光の当たる場所、窓の側、車の中などに長期間置かないでください）。
- リモートアシスタントをバッグやポケットに他の物と一緒に入れる時は、ディスプレイに傷がつかないよう注意してください。市販の保護フィルムを使って、リモートアシスタントのディスプレイを傷から保護することもできます。
- 湿気や埃が多い場所では、リモートアシスタントを保護してください。
- リモートアシスタントは濡らさないでください。
- リモートアシスタントの表面を拭く場合は、乾いた柔らかい布のみを使用してください。
- リモートアシスタントを乾かす際は、業務用または家庭用電気機器を使用しないでください。
- リモートアシスタントのディスプレイを曲げたり、強く押したりしないでください。
- USB ケーブルを抜き差しする際、またはリモートアシスタントのボタンを使用する際に力を入れ過ぎないでください。
- 分解したり、変形させたり、水に浸したりしないでください。リモートアシスタントが正常に機能しない場合は、病院の先生にご相談ください。分解した場合、保証は無効になります。
- 電池を取り外さないでください。コクレア社のサービスマン以外は電池の取り外しをしないでください。
- 電気部品は各地域の規制に従って処分してください
- リモートアシスタントの充電にコンピュータを使用する場合、各地域の規制によって要求される、情報技術機器の安全性規格 IEC 60950 に準拠していることを示すマークがコンピュータに付いていることを確認してください。
- この機器の改造は許可されていません。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 70 2014-1-6 15:03:24

その他の情報

物理構成

リモートアシスタントは以下で構成されます。

- カスタムなアナログおよびデジタル集積回路 : マイクロプロセッサ設計に基づいており、双方向ワイヤレス通信機能を備えています。
- ボタンとスライダ : サウンドプロセッサとリモートコントロールを操作するために使用します。
- ディスプレイ : システムの状態と動作が表示されます。
- スピーカー : アラーム音（パブリックアラーム）を発します。
- コイルセンサ : 送信コイルが音声信号をサウンドプロセッサから受信していることを確認します。ペア設定にも使用します。
- 内蔵電池充電回路。
- 電池の安全性のための温度センサー。
- フェライトビーズ付き micro USB コネクタ : リモートアシスタントの充電とファームウェアのアップデートに使用します。

材質

非金属ボタンを含むリモートアシスタントの筐体はポリカーボネート製です。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 71 2014-1-6 15:03:25

ワイヤレス通信接続

リモートアシスタントのワイヤレス通信接続は、GFSK (Gaussian Frequency Shift Keying) を 5 つのチャンネルで用いて、2.4 GHz ISM 帯域で行います。この接続には独自の双方向通信プロトコルが使用され、サウンドプロセッサから 2 メートル以内の距離で操作できます。干渉が発生した場合、ワイヤレス通信接続は、5 チャンネルの中で最も干渉の影響が低いものに切り替わります。サウンドプロセッサが操作範囲内にない場合や、干渉によって通信接続が妨害された場合には、リモートアシスタントのディスプレイに表示されます。

電池寿命、充電サイクルおよび耐用期間

- 電池寿命とは、使い捨て電池の交換または充電池の充電が必要となるまでの機器が動作する時間を意味します。
- 充電池の充電サイクルとは、1 回のフル充電と放電を意味します。
- 充電池の耐用期間とは、充電池の電池寿命が低下して、機器の動作する時間が当初のフル充電時の 80% となるまでの充電サイクルの合計数を意味します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 72 2014-1-6 15:03:25

寸法

構成部品	長さ	幅	厚さ
CR230 リモートアシスタント	110.8 mm	46.3 mm	14.0 mm

重量

構成部品	重量
CR230 リモートアシスタント	66 g

動作特性

特性	値/範囲
ワイヤレス技術	専用の低電力双方向ワイヤレス接続
無線周波数	2.4 GHz
電池の動作時電圧	3.7 V
電池の充電時電圧	4.2 V
電池容量	680 mAh（内蔵リチウムイオン電池）
充電サイクル	室温で 400 回の充電/放電サイクル後に 80% 以上の容量
ボタンとスライダの機能	リモートアシスタントのオン/オフ、テレコイル/オートテレコイルのオン/オフ、ロック/ロック解除、オプションの選択、画面の移動、プログラムと設定の変更
ワイヤレス通信の範囲	最大 2 メートル
ディスプレイ	128 x 128 ピクセル、カラー LCD

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 73 2014-1-6 15:03:25

環境条件

条件	最小値	最大値
保管および輸送時の温度	-10°C (14°F)	+55°C (+131°F)
保管および輸送時の相対湿度	0% RH	90% RH
保管および輸送時の気圧	250 hPa	1030 hPa
動作時の温度	+5°C (+41°F)	+40°C (+104°F)
動作時の相対湿度	0% RH	90% RH
動作時の気圧	700 hPa	1030 hPa

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 74 2014-1-6 15:03:25

環境保護

リモートアシスタントには、電気/電子機器の廃棄に関する EC 指令 2002/96/EC の対象である電子部品が含まれています。

環境を保護するために、分別していない家庭ごみと一緒にリモートアシスタントを廃棄しないでください。リモートアシスタントは、各地域の規制に従ってリサイクルしてください。

認可と適合基準

CR230 リモートアシスタントは、Active Implantable Medical Devices（能動型埋め込み医療機器）に関する EC 指令 90/385/EEC の Annex 1（付属文書 1）に記載されている基本要件を、同 Annex 2（付属文書 2）の適合性評価手順により満たしています。また、Radio and Terminal Telecommunication Equipment（無線および端末通信機器）に関する EC 指令 1999/5/EC の要件を、同 Annex IV（付属文書 IV）の適合性評価手順により満たしています。

CE 0197

2013 年に CE マークの貼付認可を受けています。

機器の分類

リモートアシスタントは、国際規格 IEC 60601-1:2005「Medical Electrical Equipment – Part 1:General Requirements for Basic Safety and Essential Performance（医療電気機器 - パート 1: 基本的な安全および基本重要性能に関する一般要件）」に記載されている、内部電源機器タイプ B 適用部品です。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 75 2014-1-6 15:03:25

米国連邦通信委員会 (FCC) および カナダ産業省 (IC) の規定遵守

本機器は、米国 FCC 規定パート 15、ならびにカナダ産業省の RSS-210 に準拠しています。本機器の使用は、以下の 2 つの項目を条件とします。

- 本機器によって有害な干渉が発生しないこと。
- 本機器が外部からの干渉を許容すること（望ましくない動作の原因となるものも含む）。

コクレア社からの明示的な承認を得ずに、本機器を改造または修正した場合は、本機器を使用するための FCC 認可が無効となることがあります。

本機器は、FCC 規定パート 15 に従って、クラス B デジタル機器に課せられる制限に準拠していることが試験によって確認されています。これらの制限は、本機器を住宅地域で使用した際に有害な干渉を適正に防ぐため設けられています。

本機器は、無線周波数エネルギーを発生、使用するほか、これを放射する可能性があります。説明書の指示に従って使用しないと、無線通信に対して有害な干渉を引き起こす原因となります。ただし、特定の方法で使用した場合に、干渉が生じないという保証はありません。本機器の電源をオン / オフにすることによって、ラジオやテレビ受信機が有害な干渉を受ける原因となっていると判明した場合には、以下の方法で干渉を取り除くことを推奨します。

- 受信アンテナの向きや場所を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは別のコンセントまたは回路に本機器を接続する。
- 販売店や、ラジオ / テレビの技術者に相談する。

FCC ID:WTOR200FF
IC ID:8039A-R200FF

日本での無線規定遵守

本機器は、電波法および電気通信事業法に基づいて認証されています。
本機器を改造してはいけません（改造した場合は技術基準適合証明番号が無効になります）。

R 202
LSB002

韓国での無線規定遵守

警告 : 本無線機器は、操作中に無線干渉の可能性があります。

KCC-CRM-COH-CR200

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 76 2014-1-6 15:03:25

表示記号

サウンドプロセッサおよびリモートの各構成部品およびパッケージには、以下の記号が表示されていることがあります。

取扱説明書を参照

ラベルには表記されない、機器に関連する具体的な警告または注意

製造業者

欧州共同体における正式代表者

カタログ番号

シリアル番号

バッチコード

製造年月日

温度制限

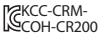
湿度制限

公認認証機関番号が付いた CE 登録マーク。Active Implantable Medical Devices（能動型埋め込み医療機器）に関する指令 90/385/EEC の要件に準拠していることを示します。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 77 2014-1-6 15:03:27

オーストラリアおよびニュージーランドでの無線規格適合証明

日本での無線規格適合証明（技適マーク）



韓国での無線規格適合証明

再使用禁止

Rx Only

医家向け

リサイクル可能な材料

電気部品は各地域の規制に従って処分してください

リチウムイオン電池は各地域の規定に従って処分してください

水に濡らさないでください

コイルマーク。ペア設定の際に、リモートアシスタントまたはリモートコントロールのこのマークに送信コイルを当ててください。

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 78 2014-1-6 15:03:28

法的事項

本書の内容は、発行の時点ではすべて事実と相違ありませんが、仕様は予告なく変更される可能性があります。

© Cochlear Limited 2013

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 79 2014-1-6 15:03:28

メモ

466334_1.01_JA_CR230_UG INT.indd 80 2014-1-6 15:03:28